

西之林

昭和八年九月五日印刷  
（日一十月七年六正）  
（可認特便郵種三第）

行發日五月九年八和昭

# 大 和 錦

號五十八百二第

(一)



## 想ひ起す九月十八日の夜

會長 鈴木六莊六

事變勃發當夜、予は恰も新潟縣の在郷將校四十名と新京（當時の長春）に滯在中で直接其の渦中に在つて事態の推移を見聞せしが爲め想ひ起して特に印象の深きものあると共に、當時の情況今猶眼前に彷彿たるの感がある。爾來會員諸君は、此の事變を楔機とし、一齊に立つて國論の喚起、正導、統一に精進せられ、茲に滿二周年の今



總裁 參謀總長 載仁親王殿下

日を迎ふるに至つた。而して此の間三千萬民衆の總意に依つて滿洲國は其の獨立を宣言し、本會は昨年奉天の大會に於て率先同國の承認を絶叫し、今や其建國の基礎日と共に堅實なる行路を辿りつゝあるは、東洋平和の爲め洵に

定額 一部金壹圓五厘  
廣告料 毎月一回發行  
發行部 東京三區三丁  
印刷部 東京三區三丁  
電話 三三三三  
郵政掛號 第三三三三號

第一分	1.000.000.000.000
第二分	1.000.000.000.000
第三分	1.000.000.000.000
第四分	1.000.000.000.000
五分	1.000.000.000.000
六分	1.000.000.000.000
七分	1.000.000.000.000
八分	1.000.000.000.000
九分	1.000.000.000.000
十分	1.000.000.000.000

欣幸とする所である。乍併吾等は今日の此の情態を以つて安意すべきではなく、事態は今後に於て愈々益々急なるべきを想ひ、来るべき幾多の艱難を排除して同國を支持し、之を援助し、以て東洋の平和、延て世界平和の招來に貢獻するの覺悟が無くてはならぬ。殊に況んや國民の中堅を以て任ずる會員諸君に於てをやである今後一層の努力を切望す。

## 事變二周年に際し 所懐を述べ

關東軍參謀長 小磯國昭

滿洲事變勃發二周年を迎ふるに方り、親愛なる戰友各位に所懐を述ぶるは予の最も欣快とする處である。一昨年九月十八日夜奉天城外に突如として起つた爆音は、皇軍をして破邪顯正の劍を執つて立たしむるの動機となり、爾來、久しきに彌つて滿洲の天地を蔽ふ居た排日毎日の妖雲は完全に掃蕩され、友邦滿洲國の五色旗は到る處日章旗と共に翻翻として翻るに至つた、これに依つて始めて我邦の生命線は確保されたのみならず東洋永遠の平和も亦確立されたのである、我等生を昭和聖代に享け直接間接にこの鴻業に參與することを得た者の歡喜は蓋し何物にも比することが出来ない。

我國民たるものは宜しく其使命の重大なることを自覺し、皇道文化の西漸に奮勵すべきである。以下過去一年間に於ける友邦滿洲國々々發展の概況を述べよう。昨年九月武蔵司令官が著任直後に於て示された方針の第一は治安恢復であり、第二は交通々々の整備、第三は産業開發であつた、爾來關東軍はこの三大工作の完成を目途として努力して來たのであるが、北境に蟠居した蘇炳文、馬占山、李杜、丁超の如き反滿抗日軍の首領は逐次に或は討たれ或は國外に亡命し、本年二月の交には僅かに湯玉麟が北平に在る張學良と呼應して熱河省内に餘威を揮ふのみとなつた。然るにこの湯玉麟の神速果敢なる攻撃に遇ひ辛うじて身を以て境外に逃れ、陸軍記念日には早くも長城の各關門に日章旗を樹立した。其後張學良も亦下野外遊の已むなきに至り反滿抗日分子使職の禍根を絶つたが、支那軍は執拗にも屢々長城線を侵したから皇軍はこれを遠く西南方に擊攘し、北平を指呼の間に眺めつゝ何應欽の請を容れて停戰の覺書交換し、五月三十一日塘沽に於ける正式協定の結果、長城線外に支那軍を不出地帯を設定して此方面の治安を確保する事に成つた、斯く如く今や滿洲國內から政治的意味を有する匪軍は凡て掃蕩されたが、今尚各地方に草匪が残存し動々もすれば蠢動せんとする居るから、關東軍は各要點に兵力を分散配置し彼等の不逞行爲は寸毫たりとも許さない姿勢にある、之を要するに治安は大體恢復されたものと見て差支ない、只此間に於ける關東軍將兵の奮闘勞苦は實に筆紙に盡し難いものがあつた、予は茲に改めて戰友各位と共に戰歿者の英靈に滿洲の敬意を表し且戰傷者に對して深甚の同情を捧げたいのである。

## 四百七十名の特別志願士官が 九月一日入隊

陸軍が新例を開いて三十歳未満の豫後備役士官を現役部隊に採用する特別志願士官の制度は去る二月十六日の勅令第十二號によつて公布せられた處忽ちにして二千名を選定し更なる内から更に優秀なる者をすぐり八月月上旬以來内命を發した四百七十名の人々は九月一日を以てそれらの隊その勤務に就くことになつた各兵科別の内譯左の如くである

- 歩兵科 二百九十一名（内戰車隊三名を含む）
  - 騎兵科 二十四名
  - 野砲 三十四名
  - 野重砲 十六名
  - 高射砲 四名
  - 山砲 七名
  - 鐵道 三名
  - 工兵科 十六名
  - 航空科 四名
  - 電信 四名
  - 經理部 三十八名
  - 輜重兵科 十六名
- 以上合計四百七十名

右特別志願士官の在營年限は二年で爾後毎年志願によつて成績良好なる者は左の區分によつて引續きを職を許可せられる

- 1 一般の者四十歳迄
- 2 大學々部卒業業者四十二歳迄
- 3 經理部職階部四十五歳迄

尙ほ去る四月四日附官報を以て發布された陸軍省告示第十二號による第二回の募集は七月末日を以て締切つたが之により第一回同様約五百名近くの人々が十二月入隊の筈であり之を以て不足して居る中少尉級の補充が相當緩和され得るであらうと云はれて居る。

本誌には修養、軍事、事業等を記載する外支那と聯合分會及分會との連絡に必要な事項が掲載してあるから役員持に分會長常務理事は必ず通讀するを必要とす

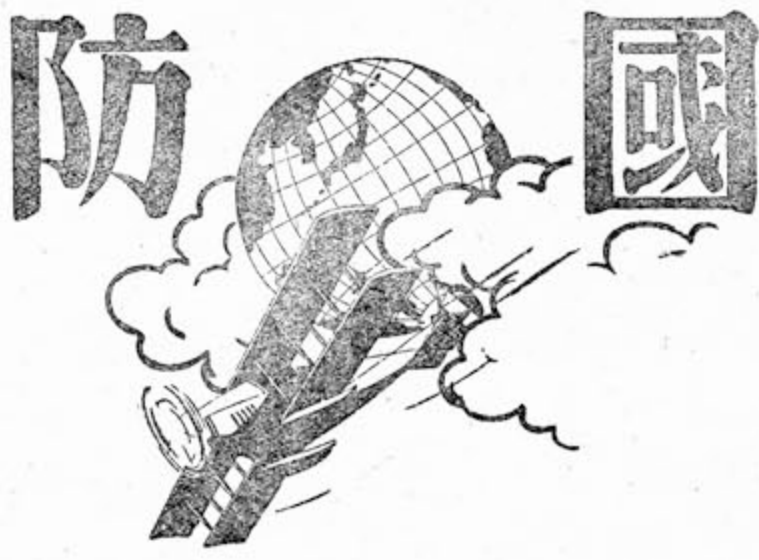


# 防空に就て

吳海軍人事部

最近科學の進歩は航空機並に航空戦術の上に驚くべき發達を齎し、飛行機の形に於て、重さに於て、速力に於て、將其の使用兵器に於て、僅か十數年前歐洲大戰に於て活躍した飛行機並に其の使用兵器に較べ、全く隔世の感があることは、已に諸君御承知のことと思ひます。

飛行機の生れ出したのは今から僅か三十年許り前で、年齢から言へば未だ若い青年に過ぎませんが、其の活動能力に於ては、兵器として、又運輸交通機關として非常なる威力を誇つて居るのであります。



歐洲大戰當時獨逸飛行機が「ロンドン」巴里を襲ひ、今から見れば兇戯に等しき爆弾を投下してさへ、豪壯なる家屋を破壊し、幾千名の人命を傷け全く此の世乍らの地獄を演出して被害當國の心膽を寒からしめたのみならず、全く傍觀的地位にあつた吾人さへ空襲の脅威に戦慄を感じたのであります。

所が今日では人類が、つひ最近迄空想か夢の様考へて居

た事情が盡く現實に現はれて来て居り、航空機の軍事上の價値は所謂科學兵器の發達と相俟つて一足飛びに夫こそ空迄騰り、將來戰の形式に異常なる變革を齎した次第であります。

乍併今日の航空機は一應空中征服の人類大業に成功したものと云ひ乍ら之れで以て進歩は窮極に達したものと云ふことは出来ません。空中征服の大業完成は、これからであります。之れ各國が其の研究に日夜没頭し互に優越の地歩を競ひつゝある所以であります。

燒夷彈や毒瓦斯等の化學兵器に於ても亦同様、特に米國や「ソビエツトロシア」に於けるが如く整備せる研究機關に依つて之れが研究に努めつゝある態度に對しては注目し値するものがあるものであります。

然らば不幸戰爭の已むなき場合を想像して見た時、果して

敵の飛行機は何處より我國に攻めて来るでござらうか。一昨年来國の「リンドバグ」大佐や「ハインドン」ペンダボーンは「アリュシヤン」群島から千島を傳つて日本本土への飛行に成功して居ります。西の方支那や、北露領沿海洲は、我が日本とは一葉帯水の近距離で飛行機の渡來には何等の造作も要りません。歐米の飛行機や飛行船が從來幾度か日本を目指して大陸方面から飛來した例を御記憶せう。

又遠波渺茫たる太平洋の方はどうでござらうか。日本と北米大陸との間は五千哩もあるから此の方面は大丈夫だとか、或は遠洲新嘉坡方面も遠いから安心だなどと云ふ夢を抱いて居られる方があつたならば、今の機會に思ひ直して頂かねばなりません。日本帝國は太平洋の西に偏して居りますが太平洋の中には我國の領土以外の島々が大小無數に點在して居ることは御承知の通りであります。航線距離幾千哩の飛行機が米大陸から一氣に我國に飛來し得ずとするも此の點在した島々を飛石傳ひに、或は「フイリピン」臺灣の方か或は小笠原列島の方からやつて來ることは至難ではないのと米國の有力者も言つて居るのであります。況して夫等の外國の島々には相當堅固な海軍防備が施され、飛行機基地さへ造らうとして居る様な噂があるに於ては尙更のことでありませう。

よしんば之も今の處理想の域を脱しないとしても、太平洋を大鵬の如く横断しに飛越せることの出来る航空母艦や巡洋艦が多數の飛行機を搭載し我が近海に押寄せ來るであらうことが誰にも考へられるのでござらうか。何れにしても敵機襲來の可能性は充分にあるのであります。

此の項では飛行機の行動半径は二、三千軒と言はれて居りますが綜合飛行中に於ける活動時間の餘裕を見積つて、行動半径二千軒と致しまして、其處で爆弾を投下したならば恰も二千軒の彈着距離を有つ大砲と同様の作用をなすことになり、命中率なども廣い地面に向つて落すのですから市街等に對しては大砲の彈丸の比ではなく全く命中率一〇〇%であります。

殊に近來は民間飛行機が長足の進歩を遂げて居りますから之を軍用機として使用し乗客の代りに燃料を積めば行動半径が大となり、荷物の代りに爆弾を搭載すれば重爆撃機となり、或は超重爆撃機となり、其の効果は恐るべきものとなりませう。

今日の爆弾は大きいものになると重さ一噸から二噸位のものがあり、一發墜すと、六階建の鐵筋「コンクリート」の建築物も、木ツ葉微塵に破壊されるのであります。我が國の如き木造の家屋では一〇〇米四方の家は影も形もない様に吹飛んで行つて了うのでござらうか。之は上海事變に於ける我が海軍飛行機に依り充分實證されたことであつて憶測ではないのであります。獨逸の所謂「X」型飛行機あたりは斯様な爆弾を七つも八つも積んで三、五〇〇軒も飛び、尙五〇軒の餘裕を持つて居ると言ふのですから、若し一度或は飛行機に見舞はれたならば、其の慘憺たる被害は實に想像に餘りあるものでござらうか。

燒夷彈や毒瓦斯等も亦恐るべき威力を持つて居り、燒夷彈の如きは發火温度が三、〇〇〇度もあつて、鐵材も何もあつたものではありませぬ。容赦なく溶解し、それ水だ、消火器だと言つても只單に人間が焦燥しく嘔吐し過ぎないでありませう。

海瓦斯も亦窒息性のもの、嘔吐性のもの、催涙性のもの、糜爛性のもの等種々あり、其の効力は視面、其の損害を被つたら最後、到る處糜爛した死屍累々として阿鼻叫喚の修羅場となるのは見易き道理であります。

こうした危険率一〇〇%の敵の飛行機が我等の上空を征服したとすれば、それこそ大變であります。

茲に於て一旦緊急ある場合には、第一に敵機を我が國土の上空に襲來せしめない様に仕組む必要が起ります。

兵法に攻撃は最良の防禦なりとありますが、少くも我が近海へ敵航空機がやつて來ない様に爲すには我が本土を中とし幾千軒と云ふ距離を半徑として畫いた理想的防空圏内へ敵航空機を一步も踏み込まない様にし、且敵航空機を運ぶ航空母艦なり、巡洋艦を踏み込まない様にします。

由來防空には攻勢的と守勢的の二つの方策があり、今申述べた先決問題と謂ふのが即ち攻勢的積極防空方策に屬するのであります。

此の任務は即ち海軍の第一線部隊が受持つので軍艦や、潜水艦や、驅逐艦や、或は飛行機を以て敵航空母艦を叩き潰すと共に、其の艦隊を撃滅するのであります。就中飛行機襲撃上最も價値の大なる航空母艦さへ叩き潰せば、恰度蜂の巣に蜂を追ひ込んだ儘根こそぎに袋を被せて焼けば、恰度蜂と同様で、島傳ひに飛んで來る飛行機などは大した問題ではなくなりませう。之が第一段階の攻勢的防空なのであります。

若し此の第一段階の攻勢的防空網を潜つてやつて來る敵機があるとなれば沿岸警備の軍艦や飛行機から飛行機を飛ばせて之に對抗せしめると云ふ第二段の構と、國內局地防空設備と云ふ第三段階の構とを以て防衛に任じます之即ち守勢的防空であります。

此の第三段階構と申しました國內防空設備には又二つの方面がありませう。一は陸軍又は海軍に於て直接之に當り、他は國民一般の努力に依り相俱に一致協力して重要都市、港灣或は軍用工場を防衛するのであります。

此の場合軍部は飛行機、高角砲、聽音機、探照燈の防空兵器を受持ち、國民一般は防護團、救護隊等を組織し、通信連絡に努め、夜間は敵飛行機の目的地發見を困難ならしむる爲、燈火や音響を管制し、軍隊に協力すると言ふ段取りなるのであります。

以上述べました敵飛行機を遙か海上に於て撃破し終ると云ふ攻勢的防空が萬一不幸にして失敗に終つたとしますれば其は大變なことであります。

時は是れ逸れ難い如き敵の飛行機が來ないとも限りませぬ。此等の場合には何ともし我が日本帝國の大動脈たる政治、經濟の中心地、或は軍事上の樞要地を襲ひ蒐つて來ます。こうなりましたと、我國では東京灣地、名古屋とか、阪神地方とか、吳、廣島地方、北九州地方は最も樞要な地區ですが、第二段、第三段階の構が餘程完全無缺に出来て居ないと所詮我が祖先傳來の神域に敵航空機の襲撃を受けることとなる譯であります。

過去歐洲大戰中五ヶ年間に於て獨逸飛行機が聯合國側の首都を襲ふに際し「ロンドン」を一〇四回襲ひ、より近い巴黎を三一回しか襲つて居ないと云ふ理由を御考へて下さうが之は他にも理由がありませうが巴里の方の防空設備が「ロンドン」よりも頭丈に出来て居たのと、佛國の飛行機が非常に優秀であり且つ活動して居たからであります。

即ち設備の充實が防空の實績に至大の意義を有することは最早警告する迄もありません。又我國の地勢は當時獨逸より空襲を受けし英佛の地勢に比し、大差あることは勿論であります。將來我國土を無窮に安泰に保たんと爲すには固より經濟上仲々許さぬ點もありませんが、出來得る限りの努力を拂つて、この設備の充實を期することを全國國民舉つて永久に忘れない様にしたいものであります。

從來各地に行はるる都市防空演習は即ち右に述べました第三段階の構に對する一時期の訓練演習でありまして如何に準備は十分でありませぬ、之が運用と共同一致の實宜しきを得なかつたならば結局勞多くして効果の少きは明かでありませぬ。運用の妙は其の根柢は人にあると云ふ。共同一致は吾人各自の自覺努力にありませぬ。即ち此等演習は官民相合同し、氣脈を一にして共に俱に、一つは防空施設の研究改善に、一つは燈火管制の實用、各種應急處置法等を講じ以て一朝空襲を受けたとしても、其の損害を最少限度に局限すべき統制ある國民的訓練を實施するを大眼目として居るのでありますことは特に國民が留意を要すべきことでありませぬ。(終)

## 非常時に處する國民の覺悟

陸軍少將 松村正員

第一、何をか非常時と云ふ

現在に於ける我國の情勢を大觀するに、外に列國の政治的經濟的重壓あり、内に民心の萎靡頹廢ありて、帝國前途に對し大なる杞憂を與ふるものである。即ち之れ非常時である。殊に最近に於ける血盟團と云ひ、五、一五事件と云ひ、將士兵隊事件と云ひ、共產黨の進行運動と云ひ、何れも非常時に一層の刺激を加へてをるものと見ねばならぬ。

而して非常時に處する對策を得んと欲すれば非常時の眞貌を明確に把握する必要がある。即ち外は詳に國際關係を明にして、其動向を察し、内は政治、經濟、思想、教育の各方面に亘り、社會の實相に觸れて正しく之を檢討する必要がある。然しながら其根本的問題は、國民精神の作興であり飛躍である。國民精神の作興とは、畢竟するに日本精神の覺醒であり振興である。即ち公明にして慈愛の精神に生き、質實剛健奮闘力行の生活に生くることである。されば予は茲に非常時に處する國民の覺悟として、日本精神の作興を特に提唱せんと欲するのである。

## 第二、日本精神の姿

我が日本の使命は東洋平和の確保に在ること、明治以來數次下し給へる詔勅を拜すれば明である。殊に日清、日露の大戦後及這次の歐洲大戰に参加せる所以も、一に此大使命達成に外ならなかつたのである。即ち吾々日本人は其民族の信念とし信仰とする皇道を廣く東洋に光被し、世界平和の理想は、吾が民族の手に依つて確立せらるべき事實を宣明する使命を負ふてをるものである。此大使命の許に吾人の祖先は皇道擴充のた爲或は、荆棘を啓き、或は盤根を除き、重擔力岳を物ともせず突進し、奮闘努力し來つたのである。

奥山のおどろの下も踏み分けて  
道ある世ぞと人に知らせむ

之が皇道宣布に直進する吾が民族の精神である。

然るに近時に於ける我が國民の態度を見るに、果して此傳統の精神を受け繼いでをるか、社會の制度は果して公明に運用せられてをるか、同胞は相互に友愛にして慈悲を旨とし相互扶掖の生活に安んじてをるか、質實剛健奮闘力行の生活を爲してをるか、廣く東洋の諸民族を皇化の恵に浴せしむることは、柔弱者なる國民の精神を以てしては到底不可能である。

日本の武術と西洋のスポーツとは性質が全く違つたものである。……希臘以來西洋はスポーツの國民であつて武術の國民ではない。……易氣ではあるが武術と身體とを最も經濟的に使つて延ばすのである。日本の武術は其の間に經濟と計算とが許され、……若し日本の武術家がスポーツの花火の結晶である。若し遊戯は到底不可能である。



中里介山氏著「借債と人生」一ツの國民であつて武術の國に日本の武術と西洋のスポーツではない。陽氣ではあるが淺薄で、最も有利に自己を捲剣を兩手に取つて身を以て敵に

國內民心は唯物思想に趨き、社會及個人の幸福は唯々物質の獲得、制度の改定により獲らるべしとなし、崇高なる道義心は地を拂ひ人々を其據る所を失ふてを。即ち物質中心のアメリカニシテは、國內を風靡し、淳良なりし我習俗も教育も此思むべき惡習の侵染を被らぬものはない、誠に嘆かばしい次第である。

されば彼の滿洲事變直前に在つては、或は華府會議に、倫敦會議に英米の輕侮を招き、精神的に屈從せしめられてつたことは、眞に故ありと云ふべきである。殊に隣邦支那さへ日本爲すなしと侮蔑して去ぬる兩度の大戰に、莫大なる犠牲を拂ふて建設したる我大陸の權益をも危うせんとしたのである。天業恢弘の大使命を帯ぶる我々が、我々の時代に至つて之を失墜せしむることは、罪死を以てするも償ふことは出来ぬ。

第三、精神的に敗退せんとする日本

今や我國內には「祖國ソビエツト露西亞を守れ」と云ふ同胞がある。我が國體や國家の組織と同様に、彼らに臣事せんとするのである。此の如きは既に精神的に露西亞に敗れてをるものである。

又正義を以て其主張を争ひ、國民舉つて之を支援すべき國際會議に於て、悲しむべき幾多の風聞を耳にするのである。如何に國民精神が萎微したと云へ、此の如き賣國的事實のあり得ないことは確信する所ではあるが、現時の世相に顧みて一抹の不安を感じざるを得ない。

若し吾が國が露西亞や米國と戦つたならば如何であるか、幾多の獅子心中の虫が湧くであらう。吾人は外敵に向つて戦ふ以前に國內で戦はねばならぬ。戦争の跡を按ずるに、國內の結束なくして戦勝の榮冠を得たることはない。戦勝の第一義は精神的要素であつて、國民が最後迄結束して戦ひ抜く、と云ふ氣風があれば勝つのである。今次の大戦に於て佛國は巴里近くまで敗退し、國土の重要な部分を獨軍のために占領せられたに拘はらず、佛國民は最後迄敗退を信せず、幾度か戦線の危機を突破して、最後の勝利を得たのである。彼らは今日でも些少なりとも獨軍に負けたと云ふ觀念はないのである。

貴ぶべきは精神である。自主獨立、自ら其傳統の文化を擴充し、使命の達成に精進する、熱烈にして不羈なる國民精神を有するに非ずんば國家の興隆は期し難い。

國防献品献納者ニ對スル感謝

滿洲事變發生以來多數ノ陸軍用物件ヲ献納セラレ大ニ皇軍志氣ノ作興ニ寄與セラレタルハ洵ニ感激ニ堪エサル所ナリ就テハ献納者各位ニ對シ夫々謝意ヲ表シ度キモ献納者ノ總數一千數百萬人ニ達シ全員ニ互リ一々謝狀等ヲ呈スルコトハ諸種ノ關係上到底之ヲ許ササルヲ以テ今般左記ニ據ルコト、ナシタルニ付謹告ス

一、地方長官以下自治團體ノ長（内地外ニ在リテハ之ニ準スル行政區ノ長）ニ陸軍大臣ヨリ感謝狀ト國防献品記念錄トヲ贈呈シ管内献納者各位ニ謝意傳達方ヲ依頼ス

二、國防献品記念錄ハ右ノ外教化ニ資スル目的ヲ以テ全國男女中等學校全國小學校及帝國在郷軍人會ノ各團體ニ送付ス

昭和八年八月 陸 軍 省

外地の邦人

帝國在郷軍人會本部

昭和六年度末の調査に依れば、海外各地に在留する内地人の数は總數約百三十萬人、その中朝鮮に五十一萬四千人、臺灣に二十四萬三千人、關東州及び滿鐵附屬地に二十二萬人、樺太に二十八萬人、南洋群島に二萬三千人と云ふ狀況で、之を各地域の總人口に對比すると、朝鮮では僅に二%、臺灣は僅に五%、關東州及び滿鐵附屬地に於ては一七%、南洋群島に於ては三%といふ有様で、領有後既に相當の年月を経過した臺灣、朝鮮に於て斯くの如く内地人の人口が増加しないのは遺憾とするところである。

内地人にして海外に在留し各般の事業に従事しつゝあるもの、現状を觀ると、農業七萬三千人、水産業七千五百人、鑛業千五百人、工業二萬二千人、商業五萬人、交通業五千六百人、公務及び自由業一萬人、家事使用人八千三百人、其の他八千二百人で三十餘萬人が家族等に屬する。

昭和八年九月以降勤務演習召集豫定期日表

兵科別	各		兵	衛生部
	特校	准士官		
歩	九月五日	十月三日	十月一日	
	九月九日	十月七日	十月一日	
砲	九月五日	十月三日	十月一日	
	九月九日	十月七日	十月一日	
騎	九月五日	十月三日	十月一日	
	九月九日	十月七日	十月一日	
飛	九月五日	十月三日	十月一日	
	九月九日	十月七日	十月一日	

一、〇印ハ歸休兵ヲ示ス  
二、召集規則ノ改正ニ依リ本年七月九日除隊セシ歸休兵ヲ召集セラル

金本位は人間を見放す

現在金本位制を實行してゐる國はフランス、オランダ、スイス、ベルジウムの四國に過ぎず、その他の國は通貨の觀點から次の二種に分れてゐる。一つは紙幣の所持者に所定の重量の金を兌換して受取る權利を認める所謂貨幣上の法律を保存してゐるもの、事實上その法律の制限を設けてゐる國々である。他の一つは貨幣上の法律は全然廢止され、その國の紙幣は金と兌換し得ないものとなつてゐる國々である。

金本位制の放棄にしろ、將た金本位制に對して何等かの制限を設けたにしろ、いづれも故意にされたものとか、又は勝手氣儘に行はれたものではない。そして人間が金本位を棄てたのでなく、金本位が人間を見放したのだ。

それでは何故に金本位が人間を見放したのか？...その理由は多數で且つ複雑だ。だが大抵の場合には或る何かの原由からその債權國に對して約束を果すことが出来ないのが理由となつてゐる。其國が無制限に外國に借款を結んだ、め債務國となつた場合には、その國は單に自國が輸入した原料品のストツクを建て直し、且つ自國の生産機關を更新するために借財をこしらへたのみならず、自國人民の生活條件を改善するためである。斯くて自國の資力を超過した一つの社會的機關が出来上つた。海外の債權者達から金を出して貰つて大事業を企てまた失業を救済した。凡そ支拂能力ない借り手に取つて、有利な輸出クレジットを設定し自國産業を養ひ且つつたのであつたが、國家豫算の均衡を得るためには何等の策をも講じなかつたのだ。その豫算を維持するためには、徵稅立法とか勞働立法とかに依つて、輸出上競争販賣の價格以上に國內物價を引上げることに着手した。

斯うなると、あらゆる形式で取極めた海外クレジットツトや長期公債は勿論短期公債までも耗盡してしまつた。其國の債權國はその財政上の負擔を償ひ得る程に良好な貿易上のバランスを持たないことゝして、債權國が常に殖える一方なのでシビレを切らした債權國の信用を失つてしまひ、數週否數日にして忽ち金保有高の總に失つてしまふか、それとも支拂停止を聲明するか、孰れか一方を選ばざるを得なくなつた始末である。事實斯うした國は通貨上の破産か財政上の破産かの一方を行つたのであるが、いづれにしろ破産は破産で、その責任は全然その國の負ふべきものである。（前佛國藏相ベエフラングン）

佛誌に現はれた新南群島

イルストラシオン誌

印度支那とフィリッピン群島との間に、珊瑚礁から成立つた島が互に砂の礁で點綴された部分がある。一八六七年水路調査船リフルマン號が西の部分を訪れ、恐ろしく難航の場所と海圖に記して來た。即ち「未だ誰も手をつけぬ恐ろしい地方である」。又實際隨分多くの船が、此の地方を通り、インド支那から、ニューカレドニアに直航する場合遭難したものである。

斯くして、度々の経験から、その内のある部分の暗礁は知られて來た。そしてある島には、木が生え、日本人が曾ては、植樹や開拓を志し、鑛鑛の試掘をしたが、不成功に終つた。この地方には支那人やハイナナが、珊瑚礁に取圍れた島の部分に、バナナや椰子やサツマイモを植ゑ、又龜の甲殻や、海鼠を取つて生活してゐる。

リフルマン號の船員によつて測量された正確な海圖によつて、その内のある島々は約十哩ばかりも、海岸に自づと生ずる小灣が、珊瑚礁によつて作られ、そこに水上飛行機や汽艇や小さい船を入れるに適してゐる。

斯る土地を投出して置くとは、香氣だとも、不注意だとも言へやしないか？ついで隣りに土地を持つ列國、英國、フランス、オランダ、日本さへも、主權を申出やうとした。それ故に、こゝで鑛鑛を取らうとして會社を起した人々も、さて誰に申出ていゝのやら分らなかつた。支那の領海にあるものゝ如く思はれるもので、これを申出たら、列國の海上權監視のもとに論争が起つては、我々の交通の安全の爲めに危険である。

佛國政府先鞭をつける

そこでフランス政府は、一九三〇年砲艦マリシオス號によつて公式にタンベト島の取得を公表し、且つ一九三三年通報艦アストロラブとアレト兩號が島々の北にフランス國旗を掲げた。フランスの殖民島の面積は百ヘクタール富んでゐて中々肥えてゐる。

越えて四月七日、アストロラブ號は、アムボア湖を取つた。これは波に洗はれた空色の長楕に金貨を置いたやうな海の上に積重ねられた珊瑚礁から成る島の島である。波のうねりに實に少ない。腹の白い信天翁が數千羽空に群り舞ひまわつて毛に被はれて、手にとまつて餌を食べる。碧色がむく毛に被はれて、手にとまつて餌を食べる。調が珊瑚礁を包み、家は東北の方に、青く澄んだ廣いテイザールの岸の方に並らんでゐる。そして椰子が青々と茂りイテヌアの島の前を被つてゐる。

荒廢したサンゴ島嶼の風物

この島には誰もゐない。たゞ以前ゐた二人の者が道と、セメントの井戸、雲つき小屋の鐵骨を残してゐる。錆びたレールが盛土の上にひいてゐる。一九二五年頃に試みに鑛鑛を採つた日本人が一山程放つたまゝにしてゐる。木の葉で作つた小屋、サツマイモの島がよく手入してゐる。茶瓶を奉納してある社がある。飯の茶碗、支那人の漁の氏神が祭つてある。その山室の中には一寸譯し難い文字が札に書き留めてある。それによると、

「余は、テイムングと言ひ、支那船の主である。三月の満月の夜、此處に上陸、諸君に食糧を持つて來た。誰もみ當らぬから、石窟の中に米を残して行く。」

孤獨な不思議な探險氣分がある。

通報艦は、佛國々旗をロアイト、テイ・テヌ二島の北に掲げた。旗は風になびいた。ところどころ海よりも低い珊瑚礁の上に、白い珊瑚が碧く美しく、月形の黒と白線のある魚が見える。碧い鯉のやうな魚、月形の黒と白線のある魚、コチが琥珀色をしてゐる。島は三メートルも、踏み込めな位置の深さに紅樹の果樹や他の木で被はれてゐる。

捕鯊船で海礁のところ迄來て、海員達は上陸し、珊瑚礁を飛越え、腰のあたり迄水があるので、こゝを取つた事を證明する爲めに、標石を旗棒の下に埋めた。兵士がラツパを吹いた。たつた二人の兵士は捧鉢をした。

イテヌ。アバもロアイトも無人島であるが、テイ・テヌやドウ・ジュルには數人の支那人がゐる。皆ハイナナから來た者、毎年支那船が食物を給し、その代りに龜甲や、その肉を持つてゆく。海鼠の乾したのも持つてゆく。狭いながらも彼等は幸福さうだ。貿易風と戦ひ乍らも、彼等の土地を愛し、音樂のやうな葉蔭の風や、夕暮に魅されてゐる。





# 分會の活動

## 榛原町分會

七月三、四、五の三日間當町分會長は奈良、京都、八日市吳の各隊軍隊慰問團に参加し大に現役兵の志氣を鼓舞せり七月一日青訓生七周年記念式に分會長及理事出席す七月九日當町除隊兵六名歸休除隊に付分會員全員驛に向ふ八月二十四日點呼練習を實施し翌二十五日受検せり、八月二十五日午後二時より於小學校に役員會開催す。

## 三郷村分會

九月五日當分會は滿蒙二週年を向へんとするの時、意義あらしむべく分會長以下百三十三名は大坂工廠を見學せり詳細なる説明を受けて會員一同意義深き見學を終る。

## 浮孔村分會

九月五日午前五時假設動員の要領により未教育補充兵を小學校に召集し青訓生と共に三臺のトラックに分乗し藤原射撃場に到着し實彈射撃を實施し午後一時終了午後二時より歩三八に到りて新兵器の見學なし在營兵を慰問す午後五時浮孔小學校に歸せり。

## 小川村分會

六月八日午前七時より分會長以下三部班に分かれ村内出征及在營軍人の家族慰問を實施し八月三日より除隊兵出向へ分會員全員出席す八月十四日於青年會館に點呼練習教育を實施す。

## 三輪町分會

八月六日青訓生耐熱行軍實施に際し是が援助をなす、二十日於役場役員會を開催す二十七日より三日間點呼練習開催す、三十日梶栗中佐の簡點呼執行を受く九月四日日本町忠魂碑前に於て神式により本町出身戦死者の招魂祭を舉行せり。

## 吉野町分會

射撃場設置許可出願中の處許可指令に接し分會員率先之が努力奉仕に従事しをり且亦吉野工業學校附近町分會青訓生等多數絶大の後援を受け九月中旬には竣工の豫定なり。

## 大塔村分會

七月二十日村議事堂に於て役員會開催し八年度簡點呼執行に關する件、分會基本預金の件、招魂祭典執行に關する件、遠隔忠魂碑移轉寄附金に關する件等に關して協議す。

## 王寺町分會

九月一日於分會事務所評議會を開催し、聯合分會總會に關する件及滿洲事變二周年記念式講演會開催に關する件等に關して討議せり。

## 河合村分會

八月十五日於河合村役場分會總會開催し點呼に關する注意等ありて後點呼練習教育を實施す十六日木多中佐の點呼執行を受く。

## 片桐村分會

八月五日於同町役場簡點呼に關する件に付協議八月三十一日歩三八入營者除隊に關し會員一同出迎へ實施す。

## 波多野村分會

七月六日當分會長郡聯合分會評議會に出席す七月九日日本年度除隊兵三名會員全員出迎へを實施す七月十八日國民更生大講演會聽講のため分會長其他出席す。

## 本多村分會

昭和八年八月十九日午後七時より軍事思想普及の目的を以て軍事映畫會を開催す觀衆約六百名にして意義ある映畫會を盛會裡に終了せり。

## 平城村分會

八月十六日午後一時より本村戦死者の招魂祭を施行す、午後三時より役員會開催本年年度武術競技會開催の件討議す。

## 下市町分會

八月五日午後一時於同町役場班長集會し點呼に關する件及秋季總會に關する件等を協議す。

## 大柳生村分會

八月七日、十日の兩日午後二時より點呼練習教育を實施せり。

## 辰市村分會

八月一日本村出身在營兵に對して暑中見舞を贈付せり。八月二、三日の兩日同村小學校に於て本年度簡點呼の練習教育を實施せり。

## 模範團體の表彰

八月一日左記の通り表彰せられたり

- 宇陀郡 榛原分會
- 山邊郡 二階堂村分會
- 磯城郡 田原本町分會
- 同 柳本町分會
- 同 攝向村分會
- 高市郡 八木町分會
- 同 高市村分會
- 南葛城郡 御所町分會
- 北葛城郡 磐城村分會
- 同 高田町工場分會

## 丹波市町分會

八月七日を於同町小學校校長會開催し點呼練習教育及遺家族世話等に關して協議す。

## 都介野村分會

七月九日午後時より並松校に於て本年度歸休除隊兵歡迎會を行ふ、七月三十日班長會を開催し點呼に關する件等協議す。

## 波多野村分會

八月四日午後二時春日小學校に於て分會評議會を開催す。八月十三、十六の兩日點呼練習教育を實施す。

## 政治村分會

八月十三日日本年度簡點呼に際し之が練習教育を施行す。八月十四日宇陀中學校に於て簡點呼を受く。

## 神戶村分會

八月十二、十三の兩日神戶村小學校に於て簡點呼練習教育を實施す八月二十六日明治神宮體育大會出場選手撰定の爲に武術會を實施す。

## 郡山町分會高田

奈良縣生駒郡郡山町に居住する砂良市が老母扶養のため昨年徵集延期の恩典に浴せしに其の後母死亡し獨身となりしを以て事故止の手續をなし本年一月歩兵第三十八聯隊に入營せり然るに從來同人の小作せし土地六段餘歩は之を地主に返還せざるべからざる事情生せしことを知りたる戰友會員一同はいたく之に同情し本入除隊後に於ける生活の安定を願ふると且又之の回收獲より得たる利益金を以て同家の負債返還の資となさん事を決議し其の會員に依つて之が耕作を續行しつゝあり、斯くの如き行爲は眞に現役兵に對する救恤慰籍の活模範として今回支部長より表彰を受くるに到れり、因に同戰友會は郡山町分會第六班に屬し大字高田にありて會長中村騎兵軍曹以下十名の會員を以て組織せるものなり。

## 法隆寺村分會役員

美譽に對し左記賞状を授與之を表彰す

賞 狀

帝國在郷軍人會 法隆寺村分會

分會員克ク一致團結常ニ分會ノ意圖ヲ體シ郷黨黨化ノ先頭ニ立チテ修養ヲ怠ラス其ノ成績見ルヘキモノアリ偶々正會員植村正治ノ農繁期中ニ病氣ノタメ隔離サレシヲ知レル分會役員一同ハ直チニ之カ援助ヲ決意シ七月二十六日其ノ實行ニ着手スルニ到レリ之ノ學アルヲ知ルニ青年團員、消防組員モ之ニ參加シ終日炎天下ニ除草ヲ完全ニ遂行セリ斯ノ如キ眞ニ會員相互扶助ノ模範的行爲トシテ推賞ニ價シ感荷ニ堪ヘサル所ナリ仍茲ニ其ノ特行ヲ表彰ス

昭和八年八月二十日

帝國在郷軍人會奈良支部長 陸軍歩兵大佐 坂本 順

## 美談

陸軍御用達 各國時計 多賀時計店

大峯山へ御登山の節は 是非とも弊館へ

專門旅館 紀の國屋甚八

軍人會 青年團 青年訓練所

別館 清 風 亭 電話 洞川九番

館主 紀 甚 治 孝

## 商標

陸軍御用達 清涼劑 福美丹

外優良賣藥 十數方製劑卸

キ、メで 惚れられ 印ですかれ 同じ召すなら ふうくの薬

高岡 市東 郡寺 市東 高岡 市東 郡寺 市東 高岡 市東 郡寺

高岡 市東 郡寺 市東 高岡 市東 郡寺 市東 高岡 市東 郡寺

高岡 市東 郡寺 市東 高岡 市東 郡寺 市東 高岡 市東 郡寺

## 美談

原籍奈良縣奈良市東向中町黒川清君は本年徵兵検査を受けたる結果乙種なりし爲に徵兵保險金返戻を受けし金壹百圓を非常時局を痛感し僅少なるも國防費の一部に加へられんことを申出でたり

海軍艦上點呼は来る九月二十五日軍艦伊勢にて執行せらる

關係警察管區 上市、下市、柳生 針ヶ別所

## 美談

演習召集を受け除隊の際に給せられたる給料の全部を國防費に加へられんことを申出す

## 美談

演習召集を受け除隊の際に給せられたる給料の全部を國防費に加へられんことを申出す

## 美談

演習召集を受け除隊の際に給せられたる給料の全部を國防費に加へられんことを申出す

## 美談

演習召集を受け除隊の際に給せられたる給料の全部を國防費に加へられんことを申出す

## 美談

演習召集を受け除隊の際に給せられたる給料の全部を國防費に加へられんことを申出す

## 美談

演習召集を受け除隊の際に給せられたる給料の全部を國防費に加へられんことを申出す

## 美談

演習召集を受け除隊の際に給せられたる給料の全部を國防費に加へられんことを申出す

## 美談

演習召集を受け除隊の際に給せられたる給料の全部を國防費に加へられんことを申出す